

誤ったごみの出し方は大事故に繋がります

ごみの出し方について、町役場よりふたつお願いがあります。

- ① 9月2日(木)に清掃センター(養老ドリームパーク)施設内の破砕ごみピットより火災が発生しました。原因は調査中ですが、発火性のもの(ライター・リチウムイオン電池・マッチ・花火など)がごみとして出されていたことによるものと想定されます。

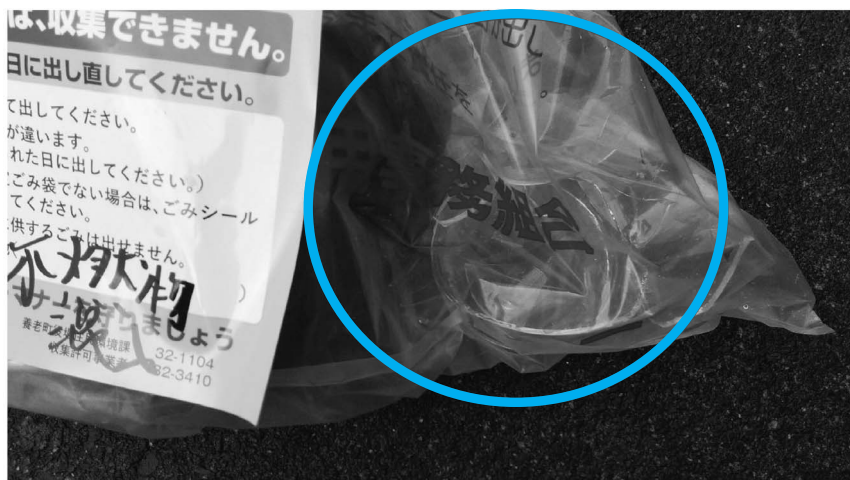
＜ごみを出すときは下記のとおりお願いします＞

- ・マッチや花火は原則、ごみとして出す前に使い切り、湿らせた状態で燃やせるごみへ(未使用のものはごみに出さない。)
- ・オイルライターは中のオイルを抜き、発火装置部分を分解し、燃やせないごみへ
- ・ガスライターは中のガスを抜き、発火装置部分を分解し、燃やせないごみへ
- ・リチウムイオン電池は、有害ごみの日または各地区公民館などに設置の乾電池回収BOXへ

- ② 8月にプラスチック製容器包装袋(赤色)の中に割れたガラスが混在していました。そのため、ごみの収集作業員がごみを回収する際、割れたガラスの破片で手を切る大けがをしました。

ガラスは燃やせないごみ袋(青色)に入れてください。また、割れたガラスをそのままごみ袋に入れるのは大変危険です。新聞紙などに包み、ごみ袋には「割れたガラスが入っています」と注意書きをしていただくと作業員も注意しながら回収できます。

ごみの出し方・分別については、皆さまのご理解とご協力が必要です。よろしくお願いいたします。



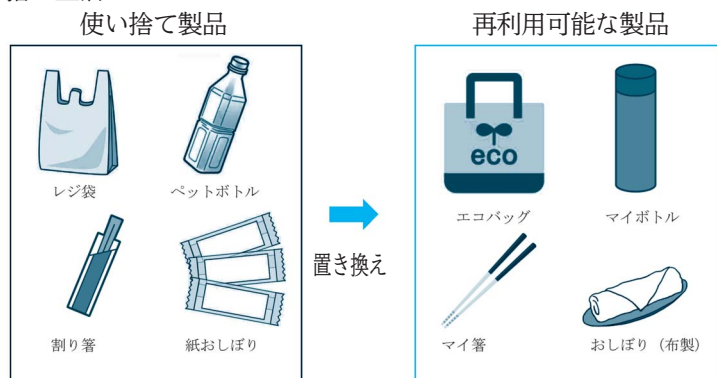
問 住民環境課 ☎32-1104

SDGs “持続可能な養老のまちづくり”

近年、排出するごみの量が増えています。ごみの量を減らすために自分のできることをやってみませんか。

※マイバッグを持参し、飲み物はマイボトルに入れて持ち歩きましょう。(リデュース・脱プラスチック生活=ごみを出さない生活)

■脱使い捨て生活



レジ袋やペットボトル、割り箸、紙おしぼりなどの使い捨て製品は地球温暖化の大きな原因になっています。この機会に、使い捨て生活を改めましょう。

回収 生活と環境を考える会では、イベントなどで木製割り箸を今までに82.6kg回収し、リサイクルしました。

問 生活と環境を考える会 ☎32-2386
住民環境課 ☎32-1104